

けんしゅうしましよ



道徳 主題名 優しい気持ち
 中心内容項目 B-6
 親切、思いやり
 資料名 はなばあちゃんがわらった
 授業者 藤崎 まゆみ

11月16日(木)5校時, 1年1組
 において, 研究授業が行われました。授
 業を公開して下さった藤崎まゆみ先生、
 ありがとうございました。生活と結びつ
 けながら学ぶ子どもの姿が見られ、学び
 の多い時間でした。

◇グループ討議から◇

◆自分事として捉えさせるために

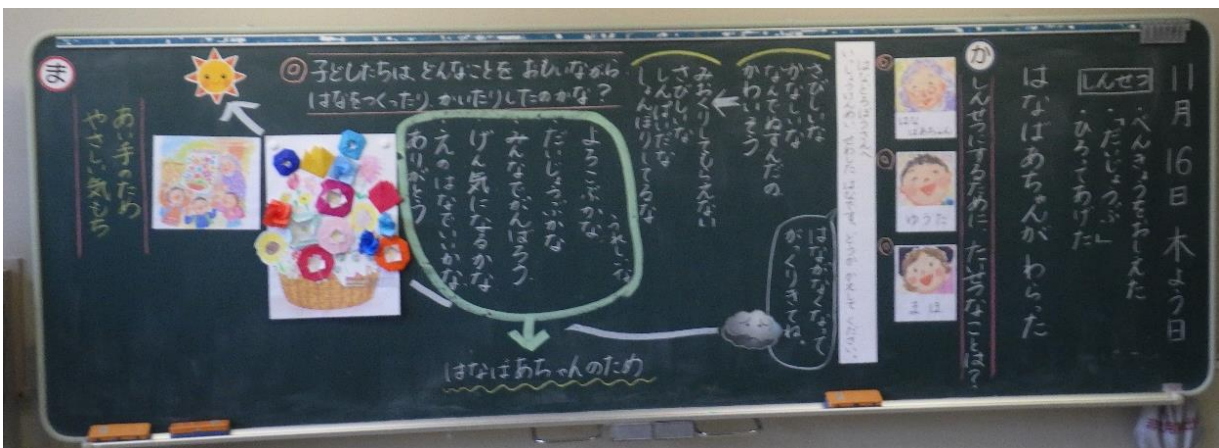
- ・児童が作った花で花束を作り黒板に貼ることで、教材と子ども達が一気に近づき、教材文に引き込むことができていた(登場人物に自己投影)。また、視覚的に「嬉しい気持ち」が伝わり、文を読んでイメージすることが苦手な児童にも内容を理解するよい手立てになっていた。
- ・かけはし活動や日常生活の児童の写真を活用することで、本時の学びを生活と結びつけることができていた。(総合単元ユニットの活用)

◆発問について

- ・「はなばあちゃんは自分のばあちゃんじゃないのに…」という切り返しの発問がよかった。この発問があることで「親切=困っている人を助けること」という捉えだけでなく、励ますことや元気づけることも親切であると児童の考えを広げることができていた。
- ・教材を読んだ後の2つ目と3つ目の発問に対する児童の答えが似たものになっていた。どちらかに減らすことで時間的余裕を作ることができるのではないか。

◆その他

- ・赤青カードを活用することで、子ども達がお互いに見てわかる意思表示になっており効果的だった。
- ・子どもの発言を、意図をくみ取った上で言い換えたり言葉を付け加えて説明したりしていた。うまく言葉で表現できない児童も安心して発言できる雰囲気がつくられるとともに、多くの子ども達がお互いの考えを理解し合いながら学習できていた。



国語 単元名 筆者のものの見方をとらえ、
 自分のかんがえをまとめよう
 『鳥獣戯画』を読む「調べた情報の使い方」
 「日本文化を発信しよう」
 児童 こもれび学級3組 6年生4名
 授業者 横山 理恵

11月20日(月)5校時、こもれび3組において、研究授業が行われました。児童がじっくり課題と向き合いながら学ぶための手立てが、たくさん盛り込まれた授業を見せて頂きました。授業を公開して下さった横山理恵先生、ありがとうございました。

◇グループ討議から◇

◆個別の手立て

- 単元計画チェック表を活用することで、学習の見通しをもたせることができていた。
- 技の説明の際、掲示物を指し示しながら確認することで、本時までの学習を想起することができており効果的だった。
- 表現のわざチェックシートやほめる言葉集を活用することで、児童が自由に選択しながら課題に取り組むことができ、自力解決を助ける大切なツールになっていた。さらに、語彙を増やすためにも役立っていた。
- 板書では、絵を拡大掲示することや、取り組む順番を示すことが児童にとってわかりやすい手立てとなっていた。



◆ICTの活用

- ドキュメントを活用することは、書字が苦手な子への支援としてとても有効だった。また、他の児童と共有しやすいという利点を生かしながら今後も積極的に活用していくとよい。

◆関わりながら学ぶ

- 上記のような手立てを準備し、子どもたちが個別にじっくり考えながら学ぶ土台を用意したうえで(個別最適な学び)、教師が個に応じた声掛けやアドバイスをしたり、児童同士をつないだりしていた。

